平成28年度愛媛県保育協議会 研修会等アンケート集計結果

研修会等名	愛媛県療育支援研修会
-------	------------

集計数	238
回収率	92%

Q1	性別	男	女	無回答			
		10	224	4			
		4%	94%	2%			
Q1	年代	20代	30代	40代	50代	60代	無回答
		61	75	63	32	5	2
		26%	32%	26%	13%	2%	1%
Q1	地域	東予	中予	南予	無回答		
		71	70	93	4		
		30%	29%	39%	2%		
Q1	研修会を知った方法	メール・FAX	HP	口コミ	その他	無回答	
		77	2	2	86	71	
		32%	1%	1%	36%	30%	
Q2	講義 I	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
		122	102	6	0	8	
		51%	43%	3%	0%	3%	
		<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児の保育について、今一度再確認することができよかった。 ・日々の保育に胸が痛んだ(反省も込め)。明日から少し意識を変えて保育したいと思う。 ・具体的にどうすればいいかをもっと掘り下げて聞きたかった。 ・高橋先生の講義の中で心に残るキーワードがあった。 					
Q3	パネル・グループ討議	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
		82	136	13	0	7	
		34%	58%	5%	0%	3%	
		<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの先生方がどんな支援をしていて、どんなことに困っていて、そう変わってきたかなどグループに討議で話してみたい。 ・地域により保育(支援事業)に対する考え方、取り組み方に違いがあることに毎年のことながら考えさせられる。 ・グループで話し、他園の様子を知り自園でも取り入れてみようと思った。 ・資料の1園ごとの事例の後ろに1ページずつメモをとるスペースを入れてほしい。 ・もう少しグループ討議の時間があってもいいな思った。 					

Q4	講義Ⅱ	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
		184	50	1	0	3
		78%	21%	0%	0%	1%
		<p>・実践で悩みや問題点に答えてもらえるような話が今後も聞きたい。講義Ⅱの実践されている検査の話など、とても参考になりよかった。</p> <p>・話を聞くだけよりも、体を動かしながらの方が記憶に残る。</p> <p>・支援や援助の仕方がわかり勉強になった。</p> <p>・保育をする中で“これは障がいなのか？”“経験不足なのか？”と迷うことが増えており、気になっていたこと支援を仕方、その特性を知ることができ安心した。明日からの保育に活かしていきたいと思う。</p> <p>・講義の間に実験を入れてくれたりして大変わかりやすかった。</p> <p>・作業療法士の先生の講義は今までで一番よかった。</p> <p>・配慮を必要としている子が、今何をしてほしいかに気づき、今後もその子たちの成長を楽しみに保育をしていこうと思う。</p>				
Q5	講義Ⅲ	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
		80	121	19	2	16
		34%	51%	8%	1%	6%
		<p>・困っている子の見え方、感じ方について学ぶことができ保育のヒントがもたらえた。</p> <p>・障がいのある子どもたちが生活していく中で保育士として気を付けていくこと、環境を整えることなど再認識できた。</p> <p>・発達障がいの学習は常に気を付けていかなければならないと思った。視覚支援は保育の現場では当たり前になってきているので、今後は感覚統合について学んでいきたい。</p> <p>・発達障がいの子について、支援の仕方等改めて学べてよかった。その子一人ひとりに合った方法を見つけ、安心して過ごせるようなかわりを目指したい。</p> <p>・気になる子だけでなく、その周りの子にも生かせる支援の仕方を知ることができた。</p> <p>・苅田先生には地元東予でももっと講演してほしい。</p>				
Q6	全体	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
		125	106	2	0	5
		52%	45%	1%	0%	2%

Q7 今後取り上げてほしいテーマ及び講演を聴いてみたい講師など

- ・保護者支援
 - ・療育について
 - ・支援を必要とする子どもがいるクラスでの担任とサブの役割、クラス運営の仕方について。
 - ・具体的に有効な支援の仕方。それを使ってどう子どもが変わったかを定例をふまえて教えて欲しい。
 - ・グレーゾーンの子どもたちの対応や支援、保護者支援の方法についてもっとくわしく知りたい。
 - ・TEACCHプログラムの特徴などの講演を聴いてみたい。
 - ・養護施設に勤務している先生に実際に遊具や玩具を紹介してもらいつつ、どのように使用するのか、保育所でできることの範囲を教えてください。
 - ・自閉症スペクトラムの子の他児とのかかわり方や興味の持てる遊び方についての講演を聴きたい。
 - ・肢体不自由の子どもたちについてもっと勉強したい。
 - ・いろいろな子どもの実例や対策、成長過程などがわかるような講演が聴いてみたい。
 - ・園生活での遊び方について。玩具、人数に合わせた保育室の使い方など。
 - ・保育士がぎりぎりの人数での保育方法(工夫、子どもの見方など)。
 - ・Q&Aのような、支援の仕方を知りたい。また保育園でできる療育についてなどのかかわりをもっと具体的に教えて欲しい。
 - ・気になる子への特徴別のかかわり方や具体的な支援の仕方を知りたい。
 - ・気になる子を専門機関につなげていく方法など(保護者への対応)
 - ・言語発達について
 - ・未満児の配慮の必要な子へのかかわりや、未満児の時から発達障がいが見うけられる傾向など教えて欲しい。
 - ・注意欠陥多動性障害、チック症、家庭環境で変わる発達の進み具合など。
 - ・実際に発達障がいのある子を育てられた保護者の話を聞いてみたい。
 - ・支援の際の園での取り組みから就学まで(施設支援、教育相談など)
 - ・自閉症スペクトラムについてももう少し詳しく知りたい。
 - ・性同一性障がい児について。接し方や親への支援等。
-
- ・越智ミドリ先生
 - ・つばさ発達クリニックの藤岡DrやST
 - ・原巻智子先生
 - ・元愛大教授 上岡一世先生
 - ・十全の藤井先生の話をもっと聴いてみたい。
 - ・動物占いの先生
 - ・新沢としひこさん
 - ・松居和先生
 - ・済生会今治病院 小児科 渡部承平先生
 - ・あゆみ園の江戸先生
 - ・八幡浜の幸田先生 手作り玩具、リズム遊び

Q8 その他研修全般について

- ・勉強になることばかりだったので、今後の保育に活かせるようにしていきたいと思う。
- ・席に座り、苦痛な思いをしないでしっかりと話を聞くことができた。それぞれの講義の先生方の話も分かりやすく、いろいろと発見できたり、学ぶことができた。
- ・講義が多かったので少し疲れた。内容は興味深くよかった。
- ・どの講義も聴き入り、あっという間に時間が過ぎた。まずは子どもの発する言葉や行動の中から支援のポイントを探り、その中で支援の仕方を見つけられるよう取り組んでいきたいと思う。
- ・様々な立場の先生から具体的な事例を挙げてもらい、とても勉強になった。実勢に自分でもやってみることで、体の感覚の不思議もわかり、アプローチの仕方ももっとしっかり考えていきたいと思う。
- ・充実した内容だった。今後実践してみたいことがたくさんあった。
- ・ほかの研修で重なる内容を聞いていたが、再度わかりやすく教えてもらえてよかった。しかし重複するところもあったので、それぞれ視点を絞って具体的にしてもらえるとよりよかった。
- ・全体的にわかりやすい講義でよかった。
- ・学ぶことが多く、園のほかの保育士にも伝えたい。
- ・子どもとのかかわりの基本を学べる研修会だった。
- ・日程、内容の見直しをしてほしい(グループ討議や悩み相談の時間を増やすなど)。
- ・パワーポイントのレジュメを資料に載せてあると聞いたことを書き込むことができ、あとから見てもわかりやすい。
- ・休憩も適度にあり、リラックスして研修を受けることができた。
- ・携帯電話やカメラでの撮影、記録はいいのか。いいのであればこれから取り入れてほしい。
- ・お弁当がもう少し金額に合ったものにしてほしい。
- ・3年続けての参加になるが、毎年異なる講師にきてもらい、最新の情報や支援の手立てを教えてもらった。新たな気づきがあり勉強になった。
- ・今回は具体的な情報が多く、考えさせられることばかりだった。
- ・講義だけではなく、実技や実践をする場があるといい。
- ・合理的配慮ができるようになりたいと思った。
- ・愛媛では「障害」ではなく「障がい」になっていると思うので、資料も統一したほうがいいのではないかな。
- ・どの講義も、今自分がしている保育にとってもプラスになる話だったのでよかった。ダウン症の子や発達障がいのある子がいるのももっともっと丁寧にかかわっていききたいと思う。
- ・2日間は長い。座って聴く講義ばかりなので体力もなくなる。経費削減で遠いところからバスや車で2日間来るようになるので、1日で終わるようにしてほしい。
- ・トイレ休憩をとってくれる講義もあったが、1日に2時間半の講義を2つはなかなか集中力が維持できない。
- ・参加者から意見が出ないときは、役員や司会が最初に質問をするとういと思う。誰でも最初は言いにくい。
- ・3つ講義ともなんとなく似たような内容だったので、もう少し違った分野の話が聴けるといいと思う。
- ・遠くから来ている方もいるので、曜日は月火ではなく、木金の方がいいのでは。
- ・行く途中で事故があり、到着が大幅に遅れたが、あたたかく迎え入れてもらい(座席など)よかった。
- ・スライドの度にシャッター音、フラッシュが迷惑だった。
- ・お弁当は違うところがいい。
- ・今、担当している子どもの問題行動をひもとくように専門分野でわかりやすく解説してもらえ勉強になった。
- ・少しマイクの音が聞こえづらいときがあった。
- ・近くの駐車場の案内が欲しい。

課題のみ抜粋

- ・講義が多かったので少し疲れた。内容は興味深くよかった。
- ・話を聞くだけよりも、体を動かしながらの方が記憶に残る。
- ・ほかの研修で重なる内容を聞いていたが、再度わかりやすく教えてもらえてよかった。しかし重複するところもあったので、それぞれ支店を絞って具体的にしてもらえるとよりよかった。
- ・日程、内容の見直しをしてほしい(グループ討議や悩み相談の時間を増やすなど)。
- ・パワーポイントのレジюмеを資料に載せてあると聞いたことを書き込むことができ、あとから見てもわかりやすい。
- ・携帯電話やカメラでの撮影、記録はいいのか。いいのであればこれから取り入れてほしい。
- ・お弁当をもう少し金額に合ったものにしてほしい。
- ・講義だけではなく、実技や実践をする場があるといい。
- ・具体的にどうすればいいかをもっと掘り下げて聞きたかった。
- ・愛媛では「障害」ではなく「障がい」になっていると思うので、資料も統一したほうがいいのではないか。
- ・2日間は長い。座って聴く講義ばかりなので体力もなくなる。経費削減で遠いところからバスや車で2日間来るようになるので、1日で終わるようにしてほしい。
- ・トイレ休憩をとってくれる講義もあったが、1日に2時間半の講義を2つはなかなか集中力が維持できない。
- ・参加者から意見が出ないときは、役員や司会が最初に質問をするといいと思う。誰でも最初は言いにくい。
- ・3つ講義ともなんとなく似たような内容だったので、もう少し違った分野の話が聴けるといいと思う。
- ・もう少しグループ討議の時間があってもいいな思った。
- ・資料のパネル・グループ討議のページで、1園ごとの事例の後ろに1ページずつメモをとるスペースを入れてほしい。
- ・遠くから来ている方もいるので、曜日は月火ではなく、木金の方がいいのでは。
- ・スライドの度にシャッター音、フラッシュが迷惑だった。
- ・お弁当は違うところがいい。
- ・少しマイクの音が聞こえづらいときがあった。
- ・近くの駐車場の案内が欲しい。